OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	「デザイン理論」投稿規定/「デザイン理論」執筆要領/奥付
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2010, 55, p. 98-100
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/53603
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

「デザイン理論」投稿規程

昭和37年11月11日改正，昭和60年11月８日改正
平成２年11月10日改正，平成６年７月９日改正
平成14年11月９日改正，平成18年11月18日改正

１．内　　容：デザインに関する未発表の論文，研究報告等。
２．投稿資格：本会会員
３．採　　択：採否及び掲載号については編集委員会が決定する。
４．査　　読：学術論文については，編集委員会が査読者２名に依頼する。査読結果は編集委員会が本人に通知する。結果は，(A)無条件採用，(B)条件付採用，(C)不採用とする。
５．執筆要領：別に定める。
６．提出期限：基本的には随時。ただし，学術論文は，査読のため，５月春号掲載希望は，１月15日，11月秋号掲載希望は，６月30日を締め切りとする。学術論文以外は，これは投稿予告の期限で，実際の投稿期限は，それぞれ３月31日，８月31日とする。
７．提 出 先：意匠学会編集委員会

付記（著作権について）

・本学会誌に掲載された論文の著作権および編集出版権は本学会に帰属するものとする。
　たとえば論文集または電子データの形で出版する権利，またデジタル・アーカイヴ化等の権利である。
・ただし著者本人が利用する場合には制約を受けない。

なお以上の規程は，平成18年11月18日より発効する。

「デザイン理論」執筆要領

平成17年７月23日　改正

１．原　　稿

・原稿は，ワープロあるいはパソコン・ソフトで作成することが望ましい。

・Ａ４大の用紙に１行40字，１頁32行程度で作成すること。

・学術論文の場合は，Ａ４サイズのレイアウト見本３部同封して編集委員会宛に投稿すること。（テキスト・データ，図表版下あるいは図表データは査読を経て掲載が決まった段階で，最終原稿として最終的なレイアウト見本とともに編集委員会宛に郵送する。）

・研究報告の場合は，テキストおよび図表データとＡ４サイズのレイアウト見本を郵送する。

・書評，図書紹介，発表要旨については，テキストおよび図表データとＡ４サイズのレイアウト見本を編集事務局に郵送するか，あるいは編集担当者に電子メールに添付して送付する。

・学術論文，研究報告，等の本文データのファイル形式はプレーン・テキストかワードに限る。

・学術論文，研究報告，等の図表をデータで提出する場合，ファイル形式は JPEG, TIFF 等の一般的なものとし，解像度，画像サイズ等を適切に設定すること。またその場合も必ずデータのプリントアウトを添付すること。

・原稿用紙を使用する場合は，本文は400字詰横書き原稿用紙を使用し，レイアウト見本を付す。

・投稿に際しては，原稿のコピーを手許に保存すること。

２．原稿の分量

・学術論文と研究報告の場合は，本文，図版，図表，注等をすべて含めて，刷り上りで，14頁以内。（400字詰原稿用紙で約45枚）

・書評の場合は，刷り上りで２頁，４頁，６頁等偶数頁に収まることが望ましい。

・図書紹介及び発表要旨の場合は，刷り上りで２頁に収めること。

３．原稿の構成

・学術論文と研究報告の場合は，本文（図版，図表，注を含む）とは別に欧文要旨（原則として英文）を添付すること。

・本文第１頁に，表題，著者名，所属機関名，キーワード，目次を付すこと。

・欧文要旨は，刷り上り１頁とする。語数は約200語。当該言語を母国語とする人による校閲を得ておくこと。

・キーワード（和文と英文）は，それぞれ５語以内とする。

４．図・表のレイアウトなど

・図版はモノクロームとし，位置の指定，大きさ，レイアウト，必要なトリミングなどはすべて執筆者が行うこと。

・図版などの著作権の問題があると思われる場合は，執筆者自身が事前に許可をとっておくこと。

・当学会は，著作権についての責任は負わない。

編集後記

本号の発行が大幅に遅れましたことを，心よりお詫び申し上げます。これは，ひとえに編集事務局の不手際によるもので，投稿者，査読者はもとより会員各位に重ねてお詫び申し上げます。また，この点に関連して，2009年度の大会発表要旨および例会発表要旨は，次号にまとめて掲載すべく作業をすすめておりますので，ご了承くださいますようお願いいたします。

編集委員会は今期から専門領域ごとの編成とし，投稿・査読に関わるシステムの整備とピアレビュー体制づくりを目指してきました。こうした過程や体制は，多くの方々に支えられています。投稿から発行までの本誌１号分に実際に関わることになる会員の数にはおのずと限りがあるわけですが，投稿数が増え，号を重ねるごとにその数は増加します。それは，意匠学会の活性化のひとつの指標と言えるでしょう。これまでにご協力いただいた会員各位にお礼を申し上げるとともに，今後の活性化に向けて一層のご支援をお願い申し上げます。（梅宮弘光）

編集委員

今井美樹　梅宮弘光（委員長）
要真理子　櫛　勝彦　佐藤敬二
末包伸吾　常見美紀子　並木誠士
橋本英治　三木順子　藪　亨

デザイン理論　55号

Journal of the Japan Society of Design, 55/2009

発行日　2010年７月26日
発行　意匠学会
事務局　〒566-8501
大阪府摂津市正雀1-4-1
大阪人間科学大学内
FAX　：06-6381-3502
e-mail　：ohs-ishou-g@kun.ohs.ac.jp
発行者
意匠学会　編集委員会
〒657-8501
兵庫県神戸市灘区鶴甲3-11
神戸大学大学院人間発達環境学研究科　梅宮研究室
TEL/FAX：078-785-4530
e-mail　：design.riron@gmail.com
編集責任者　梅宮弘光
印刷所　㈱北斗プリント社